

ネイチャー・ウォーク

令和 5 年 5 月
2023. 5. 28 発行
(通巻第 353 号)

ECO  SAITAMA

公益財団法人
埼玉県生態系保護協会

部会：自然を歩く会

■ 4月のネイチャー・ウォーク

サはサクラソウのサ～戸田ヶ原再生地～

JR 戸田公園駅～西浦和駅

良く晴れた 2023 年 4 月 9 日（日）のネイチャーは JR 戸田公園駅から、荒川の河川敷と彩湖めぐり。今回は 15 名の方が参加しました。



戸田ボートコースの東京五輪聖火台前で、はい、チーズ！





戸田公園は 1964 年東京オリンピックのボート競技会場にもなった場所。周囲には関東の大学や企業の艇庫が並んでいます。当日もボートの練習をしている人を横目でみながら歩きました。



戸田公園から荒川の河川敷にあがり、散りかけの桜並木を横目に歩きます。

途中、ウグイスやヒバリのさえずりを聴いたり、ツバメやイワツバメのかわいいとび姿を観察したり。草はらでじっとしているヒバリも観察できました。

道中は春の野草も。

左：ヘビイチゴ

右：カキドオシ





堤防の上を歩いていると、堤防が街の方に大きく張り出した箇所が。こちらは高規格堤防（いわゆるスーパー堤防）を部分的に作った場所で、数十年かけてここから下流側まで大きく広い堤防を建設する構想があります。解説のAさんありがとう。

…気の遠くなる壮大な計画です。

日曜日のお昼の彩湖は、家族連れや気の合う仲間内でたいへんにぎわっておりました。あっちこっちから届く美味しそうなお肉を焼くにおいをかきながら、戸田ヶ原サクラソウ園に到着。

当日はお祭りの真っ最中で、ここも家族連れがたくさん訪れていました。サクラソウ園ガイドさんの解説を聞いたのち、おなじみサクラソウのほか、ノウルシ、チョウジソウ、トダスゲなどの春野草をじっくり観察しました。



お昼の後に Walk 出現認定証、一名が表彰。おめでとうございます。これからもネイチャー・ウォークをよろしく願いいたしますね。2023 年度最初のコースはお天気にも恵まれて無事終了。計 10 km以上の長丁場ながら、誰も脱落せず終えることができました。

次回もよろしく願いします。